

だれでも幸せになれる教えです!!

ひかり

2024 年

11 月

231号

- ◇ 仏教は人生の羅針盤
- ◇ 風はなぜ空高く舞い上がる
- ◇ 美味しいご飯と楽しい人生
- ◇ 病気は気からの真実

秋深
人に祈りの深け
れば



ホームページ

宗教法人 真生会

令和六年信仰目標

利他行を実践しよう!!

『幸せへの近道、一日二つ人のため!』

真生会の教えとは!

仏さまの智慧とものの見方を身に付け、自分の運命を変え、在家の法華経教団です。宗旨宗派は問いません。どなたでも安心してお越し下さい。

◇慈悲の世界「真生楽園建設」

- ・ぬくもりと安心のある家庭と社会を作る
- ・思いやりと親切の実践

◇即身成仏「輝く自分作り」

- ・ありのままに輝く自分自身になる
- ・笑顔と明るい声かけの実践

◇幸福の五ヶ条

- 一、素直な心：（おかげさま）
- 二、誠の心：（まず人さま）
- 三、明るい心：（きつとよくなる）
- 四、尊ぶ心：（仏性を拝む）
- 五、信じる心：（皆、仏の子）

第 32 回大観音祭り盛大に挙行 !!

十月二十七日

(日) 穏やかな天候に恵まれ、直接参拝とライブ配信のハイブリット方式で式典法要が行われました。

胎内仏供養の読み上げ



婦人部によるご詠歌奉納



子供奉献の儀



子孫繁栄総供養



胎内仏ご奉安



壮年による式衆行列



大観音祭り第二部

親睦昼食会・子供ふれあいゲーム・紅白餅まき



子供に大人気のポップコーン



大阪教会のみなさん



元気一杯、的当てゲーム



輪投げゲームも人気

開祖さまのみ教え

開祖 田中偉仁 たなか ひでひと



人間は強そうに見えても、実は弱いものです。その証拠に平素屈強くつきやうな体の持ち主でも、医師から「あなたの病気は悪性です。

手術せねば駄目です」と、ひとこと言われることによって、ガックリ身も心も一瞬にして崩れ落ち、重病人になってしまう人があります。金に困り、家庭にもめごとが起きると「自分は死んだほうが良い」と投げやりになって希望を無くす人があります。このような暗い心境になるのは、平素より頼りにならぬものを頼りにして生きているからです。人生は徳だけが頼りであります。徳がないため病気になるっても治らないのです。不徳の自分にどのようなしたら徳が積めるかを教えてもらうのが信仰であり、法であり教えであります。

(1983年、真実に生きる42号より)

ご真教法話

会長 田中庸仁
たなか ちゅうねい



◇仏教は人生の羅針盤らしんばん

仏教は人生の荒波や暴風雨の大海原おおうなばらを乗り越えて、凡夫ぼんぷの世界このきし（此岸）から、安心立命の仏の境地かのきし（彼岸）に辿り着くための羅針盤なのです。

羅針盤が無ければ、どんな豪華客船も何十万吨もある大型船も、大海原で漂流し目的地に到着することはできません。同様に仏教の教え、信仰という羅針盤を持たない人は、どんなお金

持ちでも高学歴の人でも実業家でも、最後は人生の漂流者になってしまいます。

人生は学びの連続です。立派な社会人になって世の中に出ていくために幼稚園から小学校・中学校・高校・大学と知識と学力を身に付けるのです。

お釈迦さまも最初は「仏を信じすがっていれば救われる」という優しい教え

から説かれ、四十年以上かけて最後は「人格の完成と実践が大切」という最高位の大学に当たる教え「法華経」を説かれて仏の境地に至れるように導かれたのです。

法華経は自行化他じぎょうけたの実践教ですから「楽」らくではありませ

んが、百千万劫ひやくせんまんじゅう（計り知れない長い年月）にも会い難い諸

経中第一の教えなのです。素晴らしい大学の教え法華経に巡り合えたら、小中高の「楽な教え」に後戻りしてはいけません。せつかく乗り越えた因縁も逆戻りしてしまいます。

しつかり学び、世渡りの智慧と徳の力を身に付けて、いかなる苦難にも動揺をしない安心立命の仏の境地を目指しましょう。荒波や暴風雨の非常時はもちろんのこと、天気晴朗にして波静かな平穏なる時も油断せず、法華経という羅針盤だけは放してなりません。

◇ 凧たこはなぜ空高く舞い上がる

もうすぐお正月を迎えます。今は少なくなりましたが、



凧あげはお正月の風物詩の一つです。凧は自力では空高く舞い上がることはできません。凧ひもをもつて走り出し、風に乗ったら時々凧ひもを引いてもらうことによって空高く舞い上がることが出来るのです。風が弱まった時や風向きが変わった時にまたひもを引くと風に乗って再び舞い上がります。

凧は自分、凧ひもは親です。親は生みの親だけではありません。結婚したら義理の親、社会に出れば仕事の親、信仰をすれば教えの親と、親にもいろいろあります。今日あるのは親のお陰と感謝を忘れない人はひもが繋が^{つな}っているので墜^おちることはありません。

しかし、社会に出て一人前になった頃に、自分の努力だけで成功したと過信して親の恩を忘れ凧ひもを切ってしまったら、凧は墜落するかわかぬ方向に飛ばされてしまいます。時々引いてもらうことによって空高く飛び続けることが出来るのです。親という凧ひものお陰で大空を飛んでいるのです。

親の方も子供が一人前になったからと言って完全に手を離れたら、やはり凧は墜ちてしまいます。風向きが変わったり風の勢いが弱くなった時にはツンツンとひもを引いてやると凧は飛び続けます。子供がいくつになっても調子の悪

い時には励ましたり、助言してあげることも親の大切な役目です。

◇美味しいご飯と楽しい人生

新米の炊き立てご飯が美味しい季節になりました。昔から美味しいご飯の炊き方の諺があります。今は薪でご飯を炊くことはキャンプぐらいしかありませんので、若い方は知らないかもしれませんが面白い諺です。

「初めチヨロチヨロ、中パツパ、終わり細火で尻上がり、赤子泣くとも蓋取るな」が美味しいご飯を炊くコツなのです。

徐々に火を強くしていき釜と蓋の隙間から勢いよく湯気が上がりだし、湯気が透明になってきたら火を弱めて、最後にちよつと火を強め、後は重しの蓋を開けずに釜の中でご飯を蒸らします。何があってもびっくりして蓋を取らずに炊き上がりを待てば美味しいご飯が炊き上がるのです。



山
帰
来

信仰も楽しい味のある一生を送るのもコツは同じです。

「初めチヨロチヨロ」ですから、幼児から小学校ぐらいまでは飛び抜けて頭角を現さなくても健康で元気に伸び伸びと育てることです。中学・高校・大学の青春時代から壮年にかけては「中パッパ」で全力投球することです。

ここからが大切です。老後の締めくくりに向かつての過ごし方で人生の楽しさ、味わいが大きく違ってくるのです。

「終わり細火で尻上がり」体力・気力・経済力も衰え細火になってきますが、気力だけは「尻上がり」でなくてはなりません。終活が流行はやっていますが、すべてを始末することが中心の尻すぼみになったら寂しい人生です。老後は来世に向けての準備期間です。今世のゴールが来世の出发点です。今晚東京で寝たら、明日の朝は東京から始まるのと同じです。老後が消極的になって寂しく終わったら、来世は同じ境遇きようぐうから始まるのが真理です。

信仰生活もやはり同じです。長年熱心に信仰して来たからこそ、最後まで情熱を燃やして人さまや子孫のために老いたりいへどと雖も気力充実、死ぬまで現役の心意気を持って、「赤子なくとも蓋取るな」どんなことにも動揺せず到最后ま

で信仰を離れないことが楽しい人生になるのです。

開祖さまは晩年「死ぬまで生きるから、大丈夫」と明るく話され、亡くなるその日まで、ご信者さんに法を説き続けられたのです。私たち弟子信者も開祖さまの生きざま、歩まれた道を辿^{たど}って行きましょう。

◇病気は気からの真実

半年ほど前、八十五歳になる熱心なご信者が、前立腺がんの宣告を受け落ち込んで暗い顔をして相談に來られました。信仰しているから絶対に病気にはならないと自信を持って見えたからショックが大きかったようです。

信仰者も生身の人間ですから、病気も怪我もするし、苦難に直面することもあります。信仰者は「一の矢を受けても二の矢を受けず」苦の受け止め方が違うから救われていくのです。「大丈夫、きっとよくなると前向きに考えて、できるだけ多く日参と法話会に参加し、一心行で一回でも

能登半島地震、豪雨災害救援金募集！

能登半島のたびかさなる災害に継続支援をお願いします。

振込銀行 三菱 UFJ 銀行 岐阜支店
口座名 宗教法人真生会 救援基金
普通口座 0133193

多く拝んでもらうことと、自身も多くの人を拝ませてもらいましょう。尻上がりの人生にするための修行と考えましょう。徳積めばものは自由になると教えられますから、施しの徳を積むことです。特に法施は財施の何千倍、何万倍も徳が積めますから、法座の時に体験法話をさせてもらい、開祖さまから教えて頂いたことや前向きな心境をお話ししましょう」とお伝えしました。

以来、夫婦で熱心にお参りされ実践し続けておられます。最初の検査で十一だった数値が三ヶ月毎の検査のたびに七、三、一とどんどん下がり、一を切ればもう大丈夫という医者のお墨付きがもらえる所まで回復されました。

そして、病気は体に徳がないのだから、身施しんせの徳を積ませてもらうと毎月の「ひかり發送奉仕」や十月の大観音祭りのテント張りやステージ作りなど若い人と一緒になってご奉仕されたのです。信仰する人は素晴らしいなあと頭が下がりました。

病気になれば医師の診察と治療も受けますが、「病気は気から」最後は病人の「きつと良くなる」という前向きの思いと実行が一番大切なのです。

「無理をしないで無理をする」この考え方が開祖さまの法華経精神なのです。

先達の名言、名句



(徳 望)

◇徳望^{とくぼう}（甲骨文字、開祖さま揮毫^{きこう}）

人生は「徳が本なり、財は末なり」
人間はお金があっても、地位があっても、学歴があっても、大邸宅に住んでいても、徳分以上の生活は続かないのです。

親孝行をし、人さまに喜んでもらえる行いをし、人は見ていなくても小さな良いことを積み重ねることによって身に徳が付きます。すべては徳が本なのです。

金は天下の回り物というように、徳さえあればお金は必要な時に必要な分だけ回ってきます。徳さえあれば、地位も財産も学歴もすべてが生きてきます。徳に^{あこが}憧れ、徳を頼りに生きる人生を目指しましょう。

今月の運勢（12月）

（2024年12月7日～2025年1月5日）

一 白水星

周囲の人と仲良く力を合わせて基礎作りの時です。親切心と優しさを忘れないように。多くの人が協力するため集まって来るが、遅れて後から来る様子見の人には要注意。

二 黒土星

運気が上がり始め、壊れた物事を元に戻す力がある。小さな望みやかすかな光を根気よく強力な太陽に育て上げよう。去る者を許せば友を連れて帰って来る。枯れ木にも花が咲く。積極的に動いて吉。

三 碧木星

継続性、一貫性、不変

性を保てば願ひ事は通る。但し、動機が正しくその正しさを持続することが条件となる。

互いに長所を発揮し、継続するには無理があつてはいけない。無理をするとは崩壊する。

四 緑木星

今は大きく羽ばたいて行動するよりも羽を休めてゆっくり休養し、エネルギーを蓄えて次の活躍に備えること。周囲から注視されているので優しさをもつて接するとよい。

五 黄土星

新しいことを始めるより、今やっていることを完成させることにス

ピード感をもって集中しよう。信頼できる目

上や徳人の助言を仰ぐと良い。経験者の応援は有難く受けること。

六 白金星

收穫を仲間と共に分かち合い楽しい時が過ぎるが、お互いの分相応を自覚し、上下の立場を踏み越えないように注意。平素から立場と役目をわきまえて行動すれば心配はない。

七 赤金星

大きな問題にぶつかり一旦立ち止まるが、何事も動機が正しければ必ず願ひは通る。無私無欲で行う姿に人は感動して集まって来る。

男女の仲も仕事のパートナーも同様である。

八 白土星

表面的な明るさや華やかさに目を奪われ、物事の本質を見失わないように注意。情熱が湧き活発に行動できるが、大きなことを為す時ではない。秩序を保った行動が大切。

九 紫火星

運気は低く暗い谷間にいる。今一步の未完成の状態だが、なまじ完成よりもかえって未来の希望があり、未完成にこそ魅力がある。上から差し込む一筋の光を信じて諦めずに進めば必ず願ひ事は通る。

「まごころ誌代」御礼

★皆様の『まごころ次第』献金のご協力によって継続発刊しています。
紙面をもって感謝申し上げます。(敬称略・順不同)

奥田佳代	横井志奈子	足立和美	鈴木正巳	
平口富子	多田佳央	亀井善二	京川春男	安田初子
堀田純子	宮田雄貴	田中花音	岸本昌子	伊東 晃
小村友子	松尾定洋	田中宏明	國井佑浩	佐藤光洋
坂本育身	加藤祐記子	熊田啓予	多田敏春	佐藤百々枝
宮島りえ	山田美保子	亀井由実子	大橋末子	山本季美衣
大下裕子	久保香代子	亀井善広	多田道子	某女
永田雅子	清崎聖良	田中理夏子	多田正幸	横山知津子
村上視佑記	樋口恵美子	田中祥陽	早野起世	土川廣美
滝山恵依子	樋口容子	田中佑季子	早野桂子	土川康二
荒木敬依子	細谷早予子	田中庸仁	豊田真悠子	土川恭代
谷口祐子	笹原正子	山田佳延	豊田直正	土川順寛
谷口祐晟	笹原トミ子	加納啓至	高橋身衣	東森敦巳
大西啓依子	坪井祥子	横井明彦	鈴木光隆	福元正子

《入会のご案内》

真生会は、個人の心の勉強と実践を目的とする個人会員制です。各家の
宗旨宗派はご自由です。詳しくは総本山真生寺、各教会にお尋ね下さい。

☆会員会費 500円 / 月

発行所 宗教法人 真生会 総本山真生寺
〒501-1105 岐阜市彦坂178番地
TEL 058(235)7304

発行人 会長 田中庸仁

振込先 三菱UFJ銀行 岐阜支店
普通口座 3715509

名義 宗教法人真生会 代表役員 田中庸仁

しあわせ眼鏡

法華經行者の祈りとして
届がぬことはなく願いと
して叶わぬことはない。
具體的に祈る。
心の底から祈る、仏さま
に届くように祈る。
具體的に実行する。
怒らない、愚痴らない、
小善を積み重ねる。

お気軽にご連絡ご相談下さい

- | | | |
|----------|------------|--|
| 【総本山真生寺】 | 〒 501-1105 | 岐阜市彦坂 178 番地
T E L 058 - 235 - 7304 |
| 【岐阜教会】 | 〒 500-8882 | 岐阜市西野町 3 - 19
T E L 058 - 262 - 9615 |
| 【大阪教会】 | 〒 532-0028 | 大阪市淀川区十三元今里 3-4-10
T E L 06 - 6308 - 5637 |
| 【名古屋教会】 | 〒 454-0808 | 名古屋市中区九重町 3 - 10
T E L 052 - 351 - 3904 |

上記の教会にお申込み下さい。必要な冊数を毎月お送りします